

淀川舟運フェスティバルと連携し、京都（伏見）～大阪（十三）間で 観光船を運航する社会実験を実施しました！

- ・ 5月10～11日に京都（伏見）～背割堤（八幡）間の観光船運航、淀川沿川でイベントを行う「淀川舟運フェスティバル」が開催されました。
- ・ イベントの一環として、淀川河川事務所も八幡から引き継ぎ十三まで運航する社会実験を京都府と連携して実施しました。
- ・ 京都から「淀川ゲートウェイ」を通り、大阪まで運航するのは今回が初めてです。
- ・ この他、淀川舟運フェスティバルに淀川河川事務所のブースを出展し、パネル展示・缶バッジ作成体験等を行いました。

■淀川舟運フェスティバル

【イベント概要】

日時：令和7年5月10日（土）～11日（日）

主催：京都府、宇治市、八幡市かわまちづくり協議会、久御山町、
淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり協議会、京都ふしみ五四市
協議会、（同）伏水酒蔵小路、京阪ホールディングス（株）

内容：伏見船着場～背割堤（八幡）船着場の運航
淀川沿川の5つの会場※でイベント開催
※伏見・宇治・八幡・久御山・枚方の5会場



オープニングセレモニー



マルシェ（芝生広場）



淀川河川事務所ブース



缶バッジ作成体験の様子

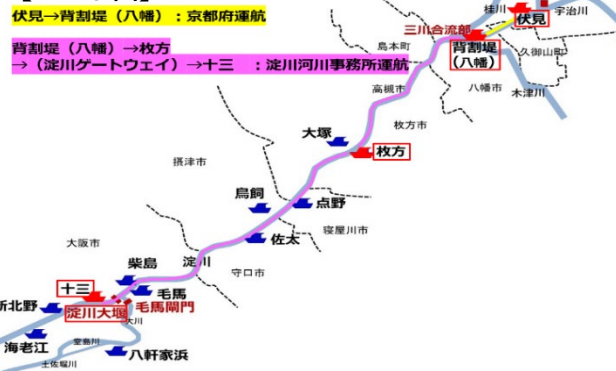
■京都（伏見）～大阪（十三）間の観光船運航

【運航概要】

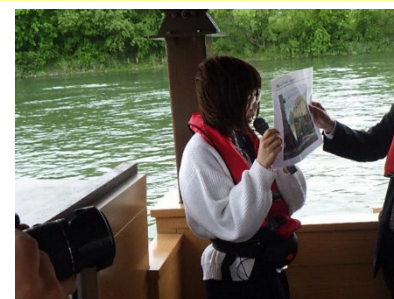
日時：令和7年5月11日（日）13:30～18:00

内容：・伏見船着場～背割堤（八幡）船着場～枚方
船着場～（淀川ゲートウェイ）～十三船着場
・全体で221名が観光船に乗船
※伏見～八幡間は2日間で167名、八幡～十三間は57名
・船上では、職員が淀川の歴史等を解説しました。

【ルート図】



伏見船着場から出航する船



職員による淀川の解説



淀川ゲートウェイを通過



十三船着場の様子

【参加者の声】

- ・ 思い入れのある淀川で船に乗れて最高の思い出になった。
- ・ 川の中からの風景が珍しく、楽しい体験だった。
- ・ 船内の売店等があればなお良いと思う。

【問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
淀川河川事務所 流域治水課 072-843-2861